学校番号	3027

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	精選　古典探究（大修館書店）						
副教材等	新版理解を深める核心古文単語 351（尚文出版） 基礎からのジャンプアップノート　古典文法・演習ドリル【改訂版】（旺文社） 漢文の習得　三訂版対応　漢文基本ノートα（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・２年生で身につけた学習能力のもとに、日本や中国の古典作品を読んで、日本の文化・価値観について考えをさらに深めていきます。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文に親しみ、昔の言葉と現代の言葉のつながりを理解する ［教材］未定（説話）	a：文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 b［　読　］：話の展開に即して内容を理解している。 c：筆者の考えを理解し、自分の考えをより深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 レポート パフォーマンステスト	ワークシート 振り返りシート
	文章表現の特色を理解する ［教材］未定（物語）	a：敬語の用法や助動詞の意味用法を理解している。 b［　読　］：表現の特色を理解し、人間に対する作者の見方・感じ方・考え方を理解している。 c：人物の苦悩や喜びを読み取り、自身の人生に対する考え方と向き合うことができる。			
	逸話（漢文）について理解を深める ［教材］未定	a：句形・訓読の手法を理解している。 b［　話/聞　］：内容を理解して音読できる。 c：逸話が現代でどのように生かされているか考えようとしている。			
二学期	物語のスキームを理解し、物語文学について理解を深める ［教材］未定（平安文学）	a：敬語・助動詞・修辞技法などの古典文法の知識を身に着けている。 b［　読　］：本文の構成を理解し、場面設定・登場人物の行動や心情を理化している。 c：登場人物の心情や行動を理解りながら自身の生き方に生かそうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 レポート	ワークシート 振り返りシート
	史伝（漢文）について理解を深める ［教材］未定	a：重要な句法や語句を理解している。 b［　読　］：脚注等を参照しながら物語の内容や登場人物の行動・心情が理解できる。 c：日本の古典や現代の文学にどのように影響を与えたかについて興味関心を持って学習に取り組んでいる。			
三学期	近世の作品を理解する ［教材］未定	a：近世特有の表現を理解している。 b［　読　］：作品の舞台となった場所を訪れ、作品世界を深く理解している。 c：セリフ劇の脚本を創意工夫して活動に取り組んでいる。	ワークシート 小テスト	ワークシート 脚本作り	ワークシート フィールドワーク 脚本作り 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ［　］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間